

シフティングレバー (ツーウェイリリース) STタイプ



ユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。
<http://si.shimano.com>

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大怪我をする可能性があります。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- 乗車前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- ユーザーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

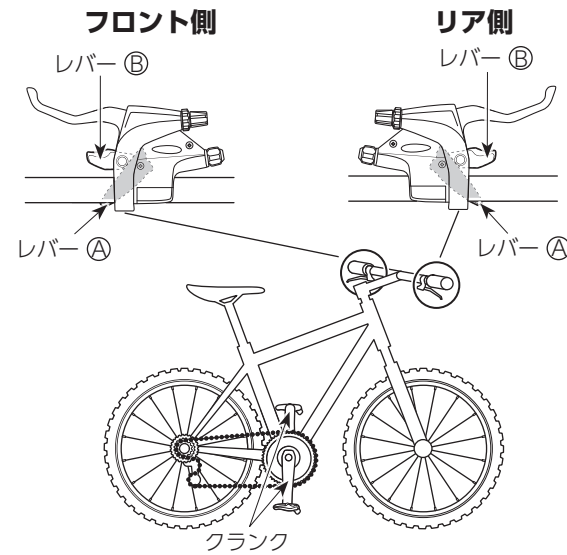
- レバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- フロントディレイラー、リアディレイラー、ブレーキのユーザーマニュアルをあわせてお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

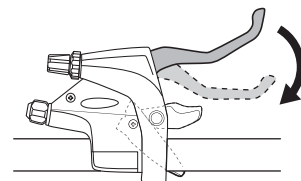
- 前後のブレーキは正しく作動しますか。
- 変速はスムーズに行えますか。
- レバーはハンドルにしっかり取付いていますか。
- 操作時にふだんと異なる音はしませんか。

各部の名称



操作方法

ブレーキ操作方法



変速操作方法

レバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。

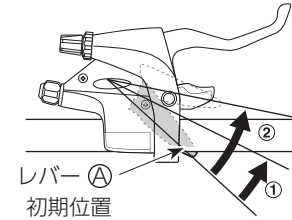
操作時の注意

レバー ㊸、㊹とも、変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。

リア側レバーの操作

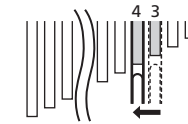
1段分だけ変速する場合は ① の位置まで操作し、2段分変速する場合は ② の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。

- レバー ㊸：リア小ギアから大ギアへの変速
(ペダリングが軽くなる。)



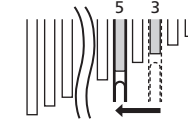
①：1段分だけ変速

例：3段目から4段目へ

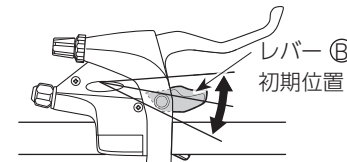


②：2段分一気に変速

例：3段目から5段目へ

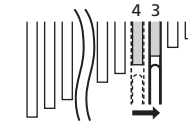


- レバー ㊹：リア大ギアから小ギアへの変速
(ペダリングが重くなる。)



『押しでも引いても変速が出来ます』

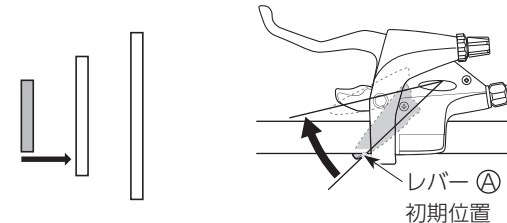
例：4段目から3段目へ



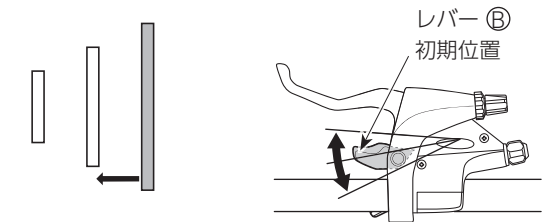
フロント側レバーの操作

*イラストはトリプル仕様で描いていますが、ダブル仕様の場合も方法は同じです。

- レバー ㊸：フロント小ギアから大ギアへの変速
(ペダリングが重くなる。)



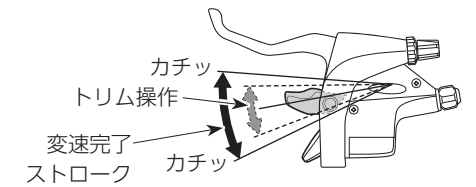
- レバー ㊹：フロント大ギアから小ギアへの変速
(ペダリングが軽くなる。)



『押しでも引いても変速が出来ます』

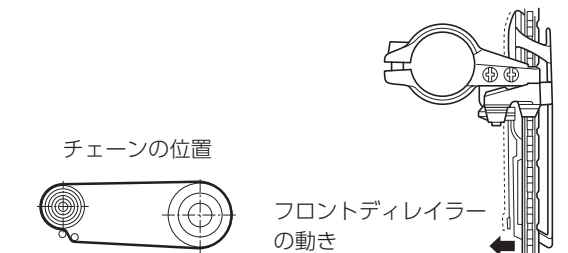
トリム付きの場合

レバー ㊹を操作すると、まずトリム操作「あたり」がカチッとあり、次の「あたり」が変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作の「あたり」はなくなり、変速完了ストロークの「あたり」のみとなります。



トリム操作 (音鳴り防止機構)

チェーンの位置がフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラーとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合には、レバー ㊹を軽く押す(カチッとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区松町3丁77番地 〒590-8577